

船舶事故等調査報告書

平成23年11月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011神第126号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年4月18日 11時30分ごろ	
発生場所	和歌山県由良町由良港 和歌山県日高町所在の紀伊由良港ムロノキ鼻灯標から真方位042° 1.2海里付近 (概位 北緯33° 57.8′ 東経135° 06.3′)	
事故等調査の経過	平成23年8月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	砂利採取運搬船 第六幸徳丸、480トン	
船舶番号、船舶所有者等	129097、前田海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼に曲・欠損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、海砂約1,000m<sup>3</sup>を積載し、船首約4.0m、船尾約5.0mの喫水で由良港において着岸作業中、平成23年4月18日11時30分ごろ浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船は、その後、着岸して船内を調査したところ浸水等の異常がなかったため、揚荷を終えて兵庫県姫路市家島港に向かった。</p> <p>船長は、岸壁付近の水深を確認することなく、低潮時に満載状態で着岸作業を行った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南西、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 低潮時</p>	
その他の事項	船長は、岸壁付近に浅所があることを知っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、由良港において低潮時に満載状態で着岸作業中、船長が岸壁付近の水深を確認していなかったことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、由良港において低潮時に満載状態で着岸作業中、船長が岸壁付近の水深を確認していなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	